

経済学部共生社会経済学科課程表

2021年度以降入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考					
			1年			2年			3年			4年								
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目				
教養 教育科目	T G ベー シ ック	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●		2										○	4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。		
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2												○	
			キリスト教A (キリスト教と倫理)	半期											2					}
			キリスト教B (キリスト教と宗教)	半期											2					
			キリスト教C (キリスト教と文化)	半期											2					
			キリスト教D (キリスト教と現代社会)	半期											2					
			市民社会を生きる	半期	○	○	2													
		地球社会を生きる	半期				○	○	2											
		科学技術社会を生きる	半期				○	○	2											
		キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2														
		知 的 基 礎	クリティカル・シンキング	半期							○	○	2							
			数理的思考の基礎	半期	○	○	2													
			統計的思考の基礎	半期	○	○	2													
			科学的思考の基礎	半期				○	○	2										
	情報化社会の基礎		半期	○	○	2														
	メディア・リテラシー		半期				○	○	2											
	読解・作文の技法		半期	●		2														
	研究・発表の技法	半期		●	2															
	学 科 教 養 科 目	人 文 系	哲学	半期	○	○	2													
			芸術論	半期	○	○	2													
			歴史学	半期	○	○	2													
			倫理学	半期							○	○	2							
			文学	半期	○	○	2													
			文化人類学	半期	○	○	2													
			地理学	半期	○	○	2													
		東北学院の歴史	半期							●		2								
		社 会 系	心理学	半期	○	○	2													
			社会学	半期	○	○	2													
経営学			半期							○	○	2								
法学			半期	○	○	2														
日本国憲法			半期				○	○	2											
現代政治基礎			半期	○	○	2														
東北地域論	半期					○	○	2												
自 然 系	環境の科学	半期	○	○	2															
	自然の科学	半期	○	○	2															
	健康の科学	半期				○	○	2												
	先端の科学と技術	半期				○	○	2												
	生命の科学	半期	○	○	2															
	情報リテラシー	半期	○	○	2															
地 域 教 育 科 目	震災と復興	半期	○	○	2															
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2								○				
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2												
	地域課題演習	通年										4								
外 国 語 科 目	第 1 類	英語ⅠA	半期	●		1											○			
		英語ⅠB	半期		●	1											○			
		英語ⅡA	半期				●		1								○			
		英語ⅡB	半期					●	1								○			
	第 2 類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2														
		フランス語ⅠA	半期	●		2														
		中国語ⅠA	半期	●		2														
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2														
		フランス語ⅠB	半期		●	2														
		中国語ⅠB	半期		●	2														
		ドイツ語Ⅱ	半期				●		2											
		フランス語Ⅱ	半期				●		2											
		中国語Ⅱ	半期				●		2											
		外国語コミュニケーション	半期							●		2								
	第 3 類	韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2														
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2														
		韓国・朝鮮語Ⅱ	半期				●		2											
		ベーシック英語	半期	●		1												「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。		
英語Ⅲ	半期								1											
保 健 体 育 科 目	体育講義	半期				○	○	2												
	スポーツ実技	通年				●	●	2												

経済学部共生社会経済学科課程表
2021年度以降入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目	
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2											
		日本事情B	半期			2											
		日本事情C	半期			2											
	第2類	日本語ⅠA	半期	●		1											
		日本語ⅠB	半期		●	1											
		日本語ⅡA	半期				●		1								
		日本語ⅡB	半期				●		1								
専門教育科目	第1類（経済系）	経済学基礎	ミクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2										
			ミクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2										
			マクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2										
			マクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2										
			資本主義経済入門Ⅰ	半期	●		2										
			資本主義経済入門Ⅱ	半期		●	2										
			資本主義経済理論Ⅰ	半期				●		2							
			資本主義経済理論Ⅱ	半期					●		2						
			経済史Ⅰ	半期								●		2			
		経済史Ⅱ	半期									●	2				
		経済学史Ⅰ	半期								●		2				
		経済学史Ⅱ	半期									●	2				
		現代の経済	日本経済論	半期							●		2				
			日本産業論	半期								●	2				
			労働経済論Ⅰ	半期							●		2				
			労働経済論Ⅱ	半期								●	2				
			グローバル経済論Ⅰ	半期							●		2				
			グローバル経済論Ⅱ	半期								●	2				
	東北経済論		半期							●		2					
	東北開発論		半期								●	2					
	アジア経済論Ⅰ		半期							●		2					
	アジア経済論Ⅱ		半期								●	2					
	地域経済論		半期							●		2					
	経済立地論		半期								●	2					
	情報経済論		半期							●		2					
	グローバル資本主義論		半期								●	2					
	加齢経済論Ⅰ		半期				●		2								
	加齢経済論Ⅱ	半期								●	2						
	第2類（共生社会系）	政策	財政学Ⅰ	半期				●		2							
			財政学Ⅱ	半期					●	2							
			社会保障論	半期	●		2										
			社会保険論	半期								●	2				
			福祉国家論Ⅰ	半期							●		2				
			福祉国家論Ⅱ	半期								●	2				
			社会福祉論	半期							●		2				
			公的扶助論	半期					●	2							
			地域福祉論Ⅰ	半期							●		2				
			地域福祉論Ⅱ	半期								●	2				
			地方財政論Ⅰ	半期							●		2				
			地方財政論Ⅱ	半期								●	2				
		社会思想史	半期							●		2					
		公共哲学	半期								●	2					
社会		共生社会概論	半期	●		2											
		グローバリズムとナショナリズム	半期								●	2					
		現代社会問題論	半期	●		2											
		現代社会と差別	半期								●	2					
		格差社会論Ⅰ	半期							●		2					
		格差社会論Ⅱ	半期								●	2					
		社会開発論Ⅰ	半期							●		2					
		社会開発論Ⅱ	半期								●	2					
		社会運動・コミュニティ論	半期							●		2					
		ボランティア・NPO論	半期			●	2										
	ジェンダー論の基礎	半期		●	2												
	ジェンダー論	半期							●		2						
環境問題論Ⅰ	半期							●		2							
環境問題論Ⅱ	半期								●	2							
多文化共生社会論	半期							●		2							
文化の多様性	半期					●	2										

経済学部共生社会経済学科課程表
2021年度以降入学生適用（その3）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考			
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修／選択必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目		
専門教育科目	第3類 総合研究	総合演習	半期	●		2										○		
		演習Ⅰ	通年				●	●	4									
		演習Ⅱ	通年							●	●	4						
		演習Ⅲ	通年										●	●	4			
		外国書講読	半期							●		2						
		特殊講義Ⅰ	半期							●		2						
		特殊講義Ⅱ	半期								●	2						
		キャリア形成と就職	半期							●		2						
	第4類 実習科目	フィールドワークの基礎	半期				●		2									
		フィールドワークⅠa	半期							●		2						
		フィールドワークⅠb	半期							●		2						
		フィールドワークⅠc	半期							●		2						
		フィールドワークⅡa	半期								●	2						
		フィールドワークⅡb	半期								●	2						
	第5類 隣接科目	フィールドワークⅡc	半期								●	2						
		海外研究Ⅰ	半期				●		2									
		海外研究Ⅱ	半期					●	2									
		サービスマネジメント	半期							●		2						
		家族法	半期							●		2						
		労働法	半期							●		2						
		社会保障法	半期								●	2						
会社法		半期							●		2							
福祉経営論	半期							●		2								
NPO経営論	半期								●	2								
教育職員免許状の教科に関する科目	日本史概論	半期					●	2										
	外国史概論	半期					●	2										
	地理学概論	半期				●		2										
	地誌学概論	半期							●		2							
教職等に関する科目	現代教職論	半期														◇		
	教育基礎論	半期	●			2										◇		
	教育の制度と経営	半期		●		2										◇		
	教育心理学	半期						2								◇		
	教育課程論	半期				●		2								◇		
	道德教育の理論と方法	半期						2								※		
	教育の方法と技術	半期						2								◇		
	教育相談の理論と方法	半期						2								◇		
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2								◇		
	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)	半期					●		2							※		
	社会・公民科教育法(概論・理論)	半期					●		2							◇		
	社会・地理歴史科教育法(実践)	半期								●		2				※		
	社会・公民科教育法(実践)	半期								●		2				◇		
	社会・地理歴史科教育法(応用)	半期							●		2					※		
	社会・公民科教育法(応用)	半期							●		2					◇		
	社会科教育法(発展)	半期									2					※		
	特別支援教育論	半期									2					◇		
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2					◇		
介護体験実習	通年									2					※			
教育実習Ⅰ	通年												3		◇			
教育実習Ⅱ	通年												2		※			
教職実践演習(中・高)	半期										●		2		◇			

◇印は、教育職員免許状取得に必修。
※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なる。
(詳細は大学要覧「教職課程」を参照のこと)
教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧「教職課程」を参照のこと。

共生社会経済学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	必修科目 6単位を含む	10単位
		知的基礎		8単位
	学科教養科目			16単位
	小 計			34単位
地域教育科目		必修（地域の課題Ⅰ）		2単位
外国語科目	第1類	必修		4単位
専門教育科目	第1類 (経済系)	経済学基礎		10単位
		現代の経済		12単位
	第2類 (共生社会系)	政策		12単位
		社会		12単位
	第3類	(総合演習)		2単位
小 計			48単位	
地域教育科目 外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				36単位以上
合 計				124単位以上

共生社会経済学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

合 計	38単位 以上	教養教育科目		8単位 (必修科目4単位を含む)
		外国語科目	第1類	英語ⅠA・英語ⅠB 2単位
		専門教育科目	第3類	総合演習2単位
	その他（教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第2類、保健体育科目、専門教育科目、他学部・他学科開講科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目）			26単位以上

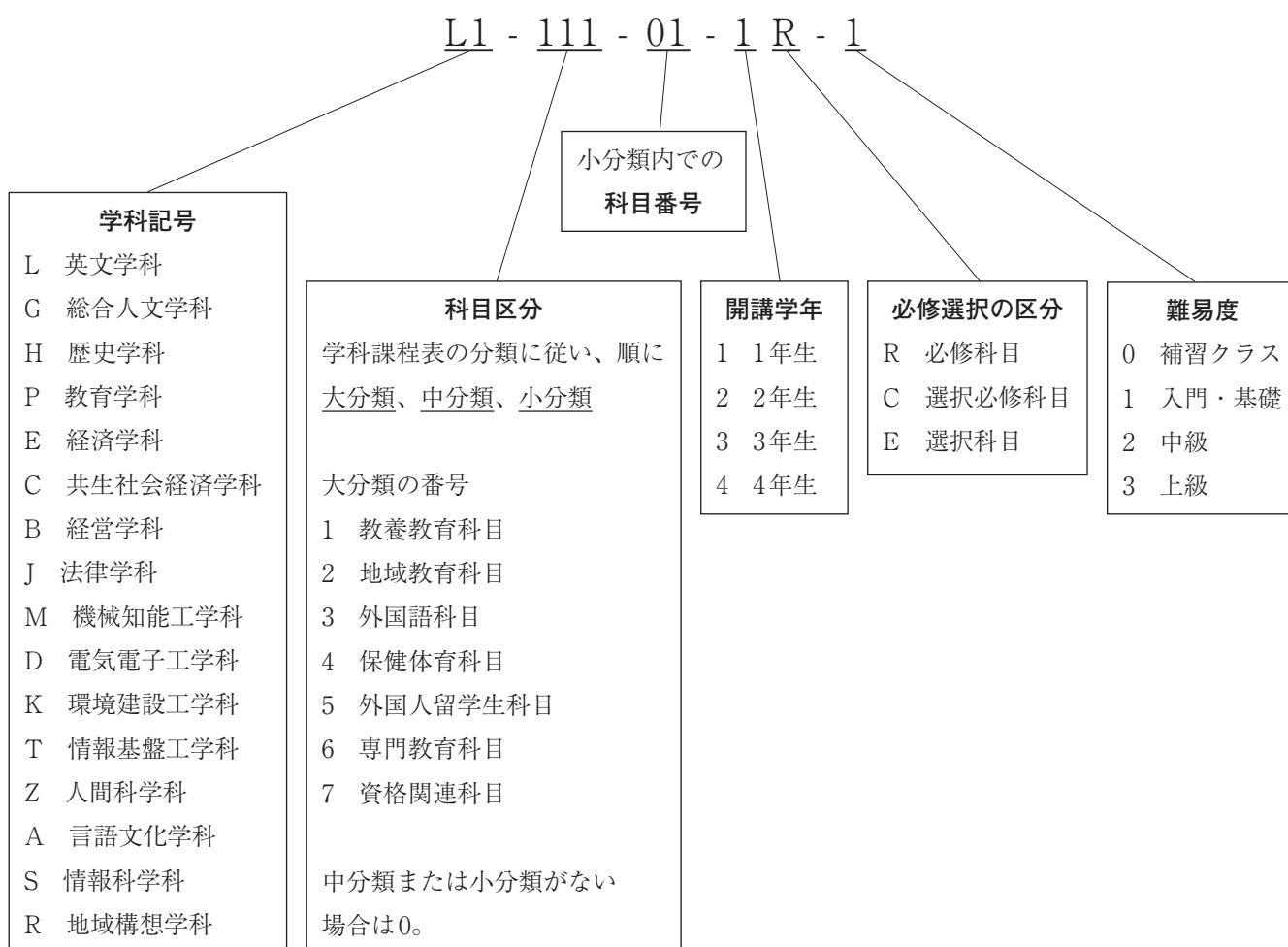
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。 (1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。 (2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。 (3) 人口減少・少子高齢化社会に対応しうる新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。 (4) 国内外の平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。	
CO-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
CO-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
CO-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
CO-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
CO-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
CO-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
CO-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
CO-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
CO-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
CO-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
CO-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
CO-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
CO-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
CO-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
CO-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
CO-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
CO-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
CO-112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎			
CO-121-01-1E-1	哲学			◎		
CO-121-02-1E-1	芸術論			◎		
CO-121-03-1E-1	歴史学			◎		
CO-121-04-3E-1	倫理学			◎		
CO-121-05-1E-1	文学			◎		
CO-121-06-1E-1	文化人類学			◎		
CO-121-07-1E-1	地理学			◎		
CO-121-08-3E-1	東北学院の歴史	○		◎		
CO-122-01-1E-1	心理学			◎		
CO-122-02-1E-1	社会学			◎		
CO-122-03-3E-1	経営学			◎		
CO-122-04-1E-1	法学			◎		
CO-122-05-2E-1	日本国憲法			◎		
CO-122-06-1E-1	現代政治基礎			◎		
CO-122-07-2E-1	東北地域論			◎		
CO-123-01-1E-1	環境の科学			◎		
CO-123-02-1E-1	自然の科学			◎		
CO-123-03-2E-1	健康の科学			◎		
CO-123-04-2E-1	先端の科学と技術			◎		
CO-123-05-1E-1	生命の科学			◎		
CO-123-06-1E-1	情報リテラシー			◎		
CO-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
CO-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
CO-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
CO-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
CO-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
CO-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
CO-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
CO-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
CO-320-01-1E-1	ドイツ語 I A		◎	○		
CO-320-02-1E-1	フランス語 I A		◎	○		
CO-320-03-1E-1	中国語 I A		◎	○		
CO-320-04-1E-1	ドイツ語 I B		◎	○		
CO-320-05-1E-1	フランス語 I B		◎	○		
CO-320-06-1E-1	中国語 I B		◎	○		
CO-320-07-2E-2	ドイツ語 II		◎	○		
CO-320-08-2E-2	フランス語 II		◎	○		
CO-320-09-2E-2	中国語 II		◎	○		
CO-320-10-3E-2	外国語コミュニケーション		◎	○		
CO-320-11-1E-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○		
CO-320-12-1E-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○		
CO-320-13-2E-2	韓国・朝鮮語 II		◎	○		
CO-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎	○		
CO-330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
CO-400-01-2E-1	体育講義			◎		
CO-400-02-2E-1	スポーツ実技			◎		
CO-510-01-1E-1	日本事情 A			◎		
CO-510-02-1E-1	日本事情 B			◎		
CO-510-03-1E-1	日本事情 C			◎		
CO-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
CO-520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○		
CO-520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○		
CO-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。 (1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。 (2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。 (3) 人口減少・少子高齢化に対応する新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。 (4) 国内外の平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。	
C0-611-01-1E-1	ミクロ経済学入門 I			◎		
C0-611-02-1E-1	ミクロ経済学入門 II			◎		
C0-611-03-1E-1	マクロ経済学入門 I			◎		
C0-611-04-1E-1	マクロ経済学入門 II			◎		
C0-611-05-1E-1	資本主義経済入門 I			◎		
C0-611-06-1E-1	資本主義経済入門 II			◎		
C0-611-07-2E-1	資本主義経済理論 I			◎		
C0-611-08-2E-1	資本主義経済理論 II			◎		
C0-611-09-3E-2	経済史 I			◎		
C0-611-10-3E-2	経済史 II			◎		
C0-611-11-3E-2	経済学史 I			◎		
C0-611-12-3E-2	経済学史 II			◎		
C0-612-01-3E-2	日本経済論			◎	○	
C0-612-02-3E-2	日本産業論			◎	○	
C0-612-03-3E-2	労働経済論 I			◎	○	
C0-612-04-3E-2	労働経済論 II			◎	○	
C0-612-05-3E-2	グローバル経済論 I			◎		○
C0-612-06-3E-2	グローバル経済論 II			◎		○
C0-612-07-3E-2	東北経済論			◎	○	
C0-612-08-3E-2	東北開発論			◎	○	
C0-612-09-3E-2	アジア経済論 I			◎		○
C0-612-10-3E-2	アジア経済論 II			◎		○
C0-612-11-3E-2	地域経済論			◎	○	
C0-612-12-3E-2	経済立地論			◎	○	
C0-612-13-3E-2	情報経済論			◎	○	
C0-612-14-3E-2	グローバル資本主義論			◎	○	
C0-612-15-2E-1	加齢経済論 I			◎	○	
C0-612-16-3E-2	加齢経済論 II			◎	○	
C0-621-01-2E-1	財政学 I			◎	○	
C0-621-02-2E-1	財政学 II			◎	○	
C0-621-03-1E-1	社会保障論			◎	○	
C0-621-04-3E-2	社会保険論			◎	○	
C0-621-05-3E-2	福祉国家論 I			◎	○	
C0-621-06-3E-2	福祉国家論 II			◎	○	
C0-621-07-3E-2	社会福祉論			◎	○	
C0-621-08-2E-2	公的扶助論			◎	○	
C0-621-09-3E-2	地域福祉論 I			◎	○	
C0-621-10-3E-2	地域福祉論 II			◎	○	
C0-621-11-3E-2	地方財政論 I			◎		○
C0-621-12-3E-2	地方財政論 II			◎		○
C0-621-13-3E-2	社会思想史			◎	○	
C0-621-14-3E-2	公共哲学			◎	○	
C0-622-01-1E-1	共生社会概論				○	◎
C0-622-02-3E-2	グローバリズムとナショナリズム				○	◎
C0-622-03-1E-1	現代社会問題論				○	◎
C0-622-04-3E-2	現代社会と差別				○	◎
C0-622-05-3E-2	格差社会論 I				○	◎
C0-622-06-3E-2	格差社会論 II				○	◎
C0-622-07-3E-2	社会開発論 I				○	◎
C0-622-08-3E-2	社会開発論 II				○	◎
C0-622-09-3E-2	社会運動・コミュニティ論			○	◎	
C0-622-10-1E-1	ボランティア・NPO論			○	◎	
C0-622-11-1E-1	ジェンダー論の基礎				○	◎
C0-622-12-3E-2	ジェンダー論				○	◎
C0-622-13-3E-2	環境問題論 I				◎	
C0-622-14-3E-2	環境問題論 II				◎	
C0-622-15-3E-2	多文化共生社会論				○	◎
C0-622-16-2E-1	文化の多様性				○	◎
C0-630-01-1R-1	総合演習					◎
C0-630-02-2E-1	演習 I					◎
C0-630-03-3E-2	演習 II					◎
C0-630-04-4E-3	演習 III					◎
C0-630-05-3E-2	外国書講読	◎				
C0-630-06-3E-2	特殊講義 I			◎	○	
C0-630-07-3E-2	特殊講義 II			◎	○	
C0-630-08-3E-2	キャリア形成と就職		◎			◎
C0-640-01-2E-1	フィールドワークの基礎					◎
C0-640-02-3E-2	フィールドワーク I a					◎
C0-640-03-3E-2	フィールドワーク I b					◎
C0-640-04-3E-2	フィールドワーク I c					◎
C0-640-05-3E-2	フィールドワーク II a					◎
C0-640-06-3E-2	フィールドワーク II b					◎
C0-640-07-3E-2	フィールドワーク II c					◎
C0-650-01-2E-1	海外研究 I	◎				
C0-650-02-2E-1	海外研究 II	◎				
C0-650-03-3E-2	サービスマネジメント		○			
C0-650-04-3E-2	家族法		○			
C0-650-05-3E-2	労働法		○			
C0-650-06-3E-2	社会保障法		○			
C0-650-07-3E-2	会社法		○			
C0-650-08-3E-2	福祉経営論		○			
C0-650-09-3E-2	NPO経営論		○			

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。		
				(1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。	(2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。	(3) 人口減少・少子高齢化に対応しうる新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。	(4) 国内外の不平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。
C0-701-01-2E-1	日本史概論			◎			
C0-701-02-2E-1	外国史概論			◎			
C0-701-03-2E-1	地理学概論			◎			
C0-701-04-3E-1	地誌学概論			◎			
C0-702-01-1R-1	現代教職論			◎			
C0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎			
C0-702-03-1R-1	教育の制度と経営			◎			
C0-702-04-2R-2	教育心理学			◎			
C0-702-05-2R-2	教育課程論			◎			
C0-702-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎			
C0-702-07-2R-2	教育の方法と技術			◎			
C0-702-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎			
C0-702-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎			
C0-702-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			○	◎		
C0-702-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			○	◎		
C0-702-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			○	◎		
C0-702-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			○	◎		
C0-702-14-3E-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			○	◎		
C0-702-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			○	◎		
C0-702-16-3R-3	社会科教育法(発展)			○	◎		
C0-702-17-3R-3	特別支援教育論			○	◎		
C0-702-18-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎		
C0-702-19-3R-2	介護体験実習			◎			
C0-702-20-4R-3	教育実習Ⅰ				○		◎
C0-702-21-4R-3	教育実習Ⅱ				○		◎
C0-702-22-4R-3	教職実践演習(中・高)						◎

経済学部共生社会経済学科課程表

2019～2020年度入学生適用（その1）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修／選択必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目	
教養教育科目	T G ベーシック	聖書を学ぶ	半期	●		2										○	4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2										○	
		キリスト教A (キリスト教と倫理)	半期										2				
		キリスト教B (キリスト教と宗教)	半期										2				
		キリスト教C (キリスト教と文化)	半期										2				
		キリスト教D (キリスト教と現代社会)	半期										2				
		市民社会を生きる	半期	○	○	2											
		地球社会を生きる	半期				○	○	2								
		科学技術社会を生きる	半期				○	○	2								
		キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2											
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期							○	○	2					
		数理的思考の基礎	半期	○	○	2											
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2											
		科学的思考の基礎	半期				○	○	2								
		情報化社会の基礎	半期	○	○	2											
		メディア・リテラシー	半期				○	○	2								
		読解・作文の技法	半期	●		2											
		研究・発表の技法	半期		●	2											
		人文系	哲学	半期	○	○	2										
			芸術論	半期	○	○	2										
	歴史学		半期	○	○	2											
	倫理学		半期							○	○	2					
	文学		半期	○	○	2											
	文化人類学		半期	○	○	2											
	地理学		半期	○	○	2											
	心理学		半期	○	○	2											
	社会学		半期	○	○	2											
	経営学		半期							○	○	2					
	社会系	法学	半期	○	○	2											
		日本国憲法	半期				○	○	2								
現代政治基礎		半期	○	○	2												
東北地域論		半期				○	○	2									
自然系		環境の科学	半期	○	○	2											
		自然の科学	半期	○	○	2											
		健康の科学	半期				○	○	2								
		先端の科学と技術	半期				○	○	2								
		生命の科学	半期	○	○	2											
		情報リテラシー	半期	○	○	2											
地域教育科目	震災と復興	半期	○	○	2												
	地域の課題Ⅰ	半期				●		2						○			
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2									
	地域課題演習	通年									4						
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1									○		
		英語ⅠB	半期		●	1									○		
		英語ⅡA	半期				●		1						○		
		英語ⅡB	半期					●	1						○		
	第2類	ドイツ語ⅠA	半期	●		2											
		フランス語ⅠA	半期	●		2											
		中国語ⅠA	半期	●		2											
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2											
		フランス語ⅠB	半期		●	2											
		中国語ⅠB	半期		●	2											
		ドイツ語Ⅱ	半期				●		2								
		フランス語Ⅱ	半期				●		2								
		中国語Ⅱ	半期				●		2								
		外国語コミュニケーション	半期							●		2					
	第3類	韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2											
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2											
		韓国・朝鮮語Ⅱ	半期				●		2								
		ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。	
英語Ⅲ	半期								1								
保健体育科目	体育講義	半期				○	○	2									
	スポーツ実技	通年				●	●	2									

経済学部共生社会経済学科課程表
2019～2020年度入学生適用（その2）

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目	
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期			2											
		日本事情B	半期			2											
		日本事情C	半期			2											
	第2類	日本語ⅠA	半期	●		1											
		日本語ⅠB	半期		●	1											
		日本語ⅡA	半期				●		1								
		日本語ⅡB	半期				●		1								
専門教育科目	第1類（経済系）	経済学基礎	ミクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2										
			ミクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2										
			マクロ経済学入門Ⅰ	半期	●		2										
			マクロ経済学入門Ⅱ	半期		●	2										
			資本主義経済入門Ⅰ	半期	●		2										
			資本主義経済入門Ⅱ	半期		●	2										
			資本主義経済理論Ⅰ	半期				●		2							
			資本主義経済理論Ⅱ	半期					●		2						
			経済史Ⅰ	半期								●		2			
		経済史Ⅱ	半期									●	2				
		経済学史Ⅰ	半期								●		2				
		経済学史Ⅱ	半期									●	2				
		現代の経済	日本経済論	半期							●		2				
			日本産業論	半期								●	2				
			労働経済論Ⅰ	半期							●		2				
			労働経済論Ⅱ	半期								●	2				
			グローバル経済論Ⅰ	半期							●		2				
			グローバル経済論Ⅱ	半期								●	2				
	東北経済論		半期							●		2					
	東北開発論		半期								●	2					
	アジア経済論Ⅰ		半期							●		2					
	アジア経済論Ⅱ		半期								●	2					
	地域経済論		半期							●		2					
	経済立地論		半期								●	2					
	情報経済論		半期							●		2					
	グローバル資本主義論		半期								●	2					
	加齢経済論Ⅰ		半期				●		2								
	加齢経済論Ⅱ	半期								●	2						
	第2類（共生社会系）	政策	財政学Ⅰ	半期				●		2							
			財政学Ⅱ	半期					●	2							
			社会保障論	半期	●		2										
			社会保険論	半期								●	2				
			福祉国家論Ⅰ	半期							●		2				
			福祉国家論Ⅱ	半期								●	2				
			社会福祉論	半期							●		2				
			公的扶助論	半期					●	2							
			地域福祉論Ⅰ	半期							●		2				
		地域福祉論Ⅱ	半期								●	2					
		地方財政論Ⅰ	半期							●		2					
		地方財政論Ⅱ	半期								●	2					
		社会思想史	半期							●		2					
		公共哲学	半期								●	2					
社会		共生社会概論	半期	●		2											
		グローバリズムとナショナリズム	半期								●	2					
		現代社会問題論	半期	●		2											
		現代社会と差別	半期								●	2					
		格差社会論Ⅰ	半期							●		2					
		格差社会論Ⅱ	半期								●	2					
		社会開発論Ⅰ	半期							●		2					
		社会開発論Ⅱ	半期								●	2					
		社会運動・コミュニティ論	半期							●		2					
		ボランティア・NPO論	半期				●	2									
		ジェンダー論の基礎	半期		●	2											
		ジェンダー論	半期							●		2					
		環境問題論Ⅰ	半期							●		2					
	環境問題論Ⅱ	半期								●	2						
	多文化共生社会論	半期							●		2						
	文化の多様性	半期					●	2									

経済学部共生社会経済学科課程表
2019～2020年度入学生適用（その3）

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年			必修／ 選択必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
専門教育科目	第3類 総合研究	総合演習	半期	●		2											○		
		演習Ⅰ	通年				●	●	4										
		演習Ⅱ	通年							●	●	4							
		演習Ⅲ	通年										●	●	4				
		外国書講読	半期							●		2							
		特殊講義Ⅰ	半期							●		2							
		特殊講義Ⅱ	半期								●	2							
		キャリア形成と就職	半期							●		2							
	第4類 実習科目	フィールドワークの基礎	半期				●		2										
		フィールドワークⅠa	半期							●		2							
		フィールドワークⅠb	半期							●		2							
		フィールドワークⅠc	半期							●		2							
		フィールドワークⅡa	半期								●	2							
		フィールドワークⅡb	半期								●	2							
	第5類 隣接科目	フィールドワークⅡc	半期								●	2							
		海外研究Ⅰ	半期				●		2										
		海外研究Ⅱ	半期					●	2										
		サービスマネジメント	半期							●		2							
		家族法	半期							●		2							
		労働法	半期							●		2							
		社会保障法	半期								●	2							
		会社法	半期							●		2							
	福祉経営論	半期							●		2								
	教育職員免許状の教科に関する科目	NPO経営論	半期							●	2								
		日本史概論	半期					●	2										
		外国史概論	半期					●	2										
		地理学概論	半期				●		2										
	教職等に関する科目	地誌学概論	半期							●		2							
現代教職論		半期									2						◇		
教育基礎論		半期	●			2											◇		
教育の制度と経営		半期		●		2											◇		
教育心理学		半期								2							◇		
教育課程論		半期				●		2									◇		
道徳教育の理論と方法		半期						2									※		
教育の方法と技術		半期						2									◇		
教育相談の理論と方法		半期						2									◇		
生徒指導・進路指導の理論と方法		半期						2									◇		
社会・地理歴史科教育法(概論・理論)		半期					●	2									※		
社会・公民科教育法(概論・理論)		半期					●	2									◇		
社会・地理歴史科教育法(実践)		半期								●	2						※		
社会・公民科教育法(実践)		半期								●	2						◇		
社会・地理歴史科教育法(応用)		半期							●		2						※		
社会・公民科教育法(応用)		半期							●		2						◇		
社会科教育法(発展)		半期									2						※		
特別支援教育論		半期									2						◇		
特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法		半期									2						◇		
介護体験実習		通年									2						※		
教育実習Ⅰ	通年													3		◇			
教育実習Ⅱ	通年													2		※			
教職実践演習(中・高)	半期											●	2			◇			

◇印は、教育職員免許状取得に必修。
※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なる。
(詳細は大学要覧「教職課程」を参照のこと)
教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧「教職課程」を参照のこと。

共生社会経済学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	必修科目 6単位を含む	10単位
		知的基礎		8単位
	学科教養科目			16単位
	小 計			34単位
地域教育科目		必修（地域の課題Ⅰ）		2単位
外国語科目	第1類	必修		4単位
専門教育科目	第1類 (経済系)	経済学基礎		10単位
		現代の経済		12単位
	第2類 (共生社会系)	政策		12単位
		社会		12単位
	第3類	(総合演習)		2単位
小 計			48単位	
地域教育科目 外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				36単位以上
合 計				124単位以上

共生社会経済学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

合 計	38単位 以上	教養教育科目		8単位 (必修科目4単位を含む)
		外国語科目	第1類	英語ⅠA・英語ⅠB 2単位
		専門教育科目	第3類	総合演習2単位
	その他（教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第2類、保健体育科目、専門教育科目、他学部・他学科開講科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目）			26単位以上

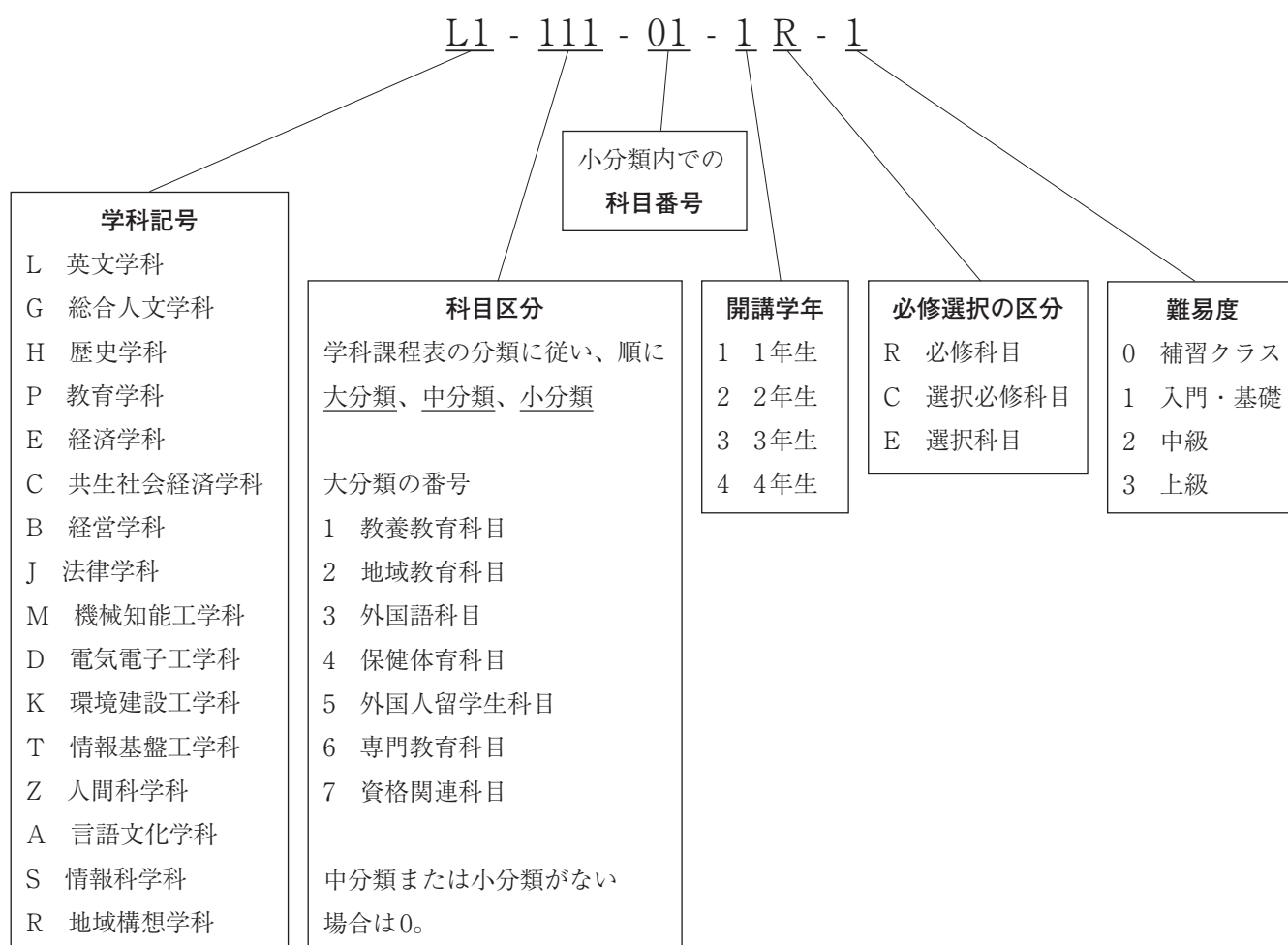
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。 (1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。 (2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。 (3) 人口減少・少子高齢化に対応する新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。 (4) 国内外の平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。	
C0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
C0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
C0-111-03-3C-2	キリスト教A (キリスト教と倫理)	◎		○		
C0-111-04-3C-2	キリスト教B (キリスト教と宗教)	◎		○		
C0-111-05-3C-2	キリスト教C (キリスト教と文化)	◎		○		
C0-111-06-3C-2	キリスト教D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
C0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
C0-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎		
C0-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎		
C0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
C0-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
C0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
C0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
C0-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
C0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
C0-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
C0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
C0-112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎			
C0-121-01-1E-1	哲学			◎		
C0-121-02-1E-1	芸術論			◎		
C0-121-03-1E-1	歴史学			◎		
C0-121-04-3E-1	倫理学			◎		
C0-121-05-1E-1	文学			◎		
C0-121-06-1E-1	文化人類学			◎		
C0-121-07-1E-1	地理学			◎		
C0-122-01-1E-1	心理学			◎		
C0-122-02-1E-1	社会学			◎		
C0-122-03-3E-1	経営学			◎		
C0-122-04-1E-1	法学			◎		
C0-122-05-2E-1	日本国憲法			◎		
C0-122-06-1E-1	現代政治基礎			◎		
C0-122-07-2E-1	東北地域論			◎		
C0-123-01-1E-1	環境の科学			◎		
C0-123-02-1E-1	自然の科学			◎		
C0-123-03-2E-1	健康の科学			◎		
C0-123-04-2E-1	先端の科学と技術			◎		
C0-123-05-1E-1	生命の科学			◎		
C0-123-06-1E-1	情報リテラシー			◎		
C0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
C0-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
C0-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
C0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
C0-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
C0-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
C0-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
C0-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
C0-320-01-1E-1	ドイツ語 I A		◎	○		
C0-320-02-1E-1	フランス語 I A		◎	○		
C0-320-03-1E-1	中国語 I A		◎	○		
C0-320-04-1E-1	ドイツ語 I B		◎	○		
C0-320-05-1E-1	フランス語 I B		◎	○		
C0-320-06-1E-1	中国語 I B		◎	○		
C0-320-07-2E-2	ドイツ語 II		◎	○		
C0-320-08-2E-2	フランス語 II		◎	○		
C0-320-09-2E-2	中国語 II		◎	○		
C0-320-10-3E-2	外国語コミュニケーション		◎	○		
C0-320-11-1E-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○		
C0-320-12-1E-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○		
C0-320-13-2E-2	韓国・朝鮮語 II		◎	○		
C0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
C0-330-02-3E-3	英語 III		◎			
C0-400-01-2E-1	体育講義			◎		
C0-400-02-2E-1	スポーツ実技			◎		
C0-510-01-1E-1	日本事情 A			○		
C0-510-02-1E-1	日本事情 B			○		
C0-510-03-1E-1	日本事情 C			○		
C0-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
C0-520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○		
C0-520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○		
C0-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。 (1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。 (2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。 (3) 人口減少・少子高齢化に対応する新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。 (4) 国内外の平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。	
C0-611-01-1E-1	ミクロ経済学入門 I			◎		
C0-611-02-1E-1	ミクロ経済学入門 II			◎		
C0-611-03-1E-1	マクロ経済学入門 I			◎		
C0-611-04-1E-1	マクロ経済学入門 II			◎		
C0-611-05-1E-1	資本主義経済入門 I			◎		
C0-611-06-1E-1	資本主義経済入門 II			◎		
C0-611-07-2E-1	資本主義経済理論 I			◎		
C0-611-08-2E-1	資本主義経済理論 II			◎		
C0-611-09-3E-2	経済史 I			◎		
C0-611-10-3E-2	経済史 II			◎		
C0-611-11-3E-2	経済学史 I			◎		
C0-611-12-3E-2	経済学史 II			◎		
C0-612-01-3E-2	日本経済論			◎	○	
C0-612-02-3E-2	日本産業論			◎	○	
C0-612-03-3E-2	労働経済論 I			◎	○	
C0-612-04-3E-2	労働経済論 II			◎	○	
C0-612-05-3E-2	グローバル経済論 I			◎		○
C0-612-06-3E-2	グローバル経済論 II			◎		○
C0-612-07-3E-2	東北経済論			◎	○	
C0-612-08-3E-2	東北開発論			◎	○	
C0-612-09-3E-2	アジア経済論 I			◎		○
C0-612-10-3E-2	アジア経済論 II			◎		○
C0-612-11-3E-2	地域経済論			◎	○	
C0-612-12-3E-2	経済立地論			◎	○	
C0-612-13-3E-2	情報経済論			◎	○	
C0-612-14-3E-2	グローバル資本主義論			◎	○	
C0-612-15-2E-1	加齢経済論 I			◎	○	
C0-612-16-3E-2	加齢経済論 II			◎	○	
C0-621-01-2E-1	財政学 I			◎	○	
C0-621-02-2E-1	財政学 II			◎	○	
C0-621-03-1E-1	社会保障論			◎	○	
C0-621-04-3E-2	社会保険論			◎	○	
C0-621-05-3E-2	福祉国家論 I			◎	○	
C0-621-06-3E-2	福祉国家論 II			◎	○	
C0-621-07-3E-2	社会福祉論			◎	○	
C0-621-08-2E-2	公的扶助論			◎	○	
C0-621-09-3E-2	地域福祉論 I			◎	○	
C0-621-10-3E-2	地域福祉論 II			◎	○	
C0-621-11-3E-2	地方財政論 I			◎		○
C0-621-12-3E-2	地方財政論 II			◎		○
C0-621-13-3E-2	社会思想史			◎	○	
C0-621-14-3E-2	公共哲学			◎	○	
C0-622-01-1E-1	共生社会概論				○	◎
C0-622-02-3E-2	グローバリズムとナショナリズム				○	◎
C0-622-03-1E-1	現代社会問題論				○	◎
C0-622-04-3E-2	現代社会と差別				○	◎
C0-622-05-3E-2	格差社会論 I				○	◎
C0-622-06-3E-2	格差社会論 II				○	◎
C0-622-07-3E-2	社会開発論 I				○	◎
C0-622-08-3E-2	社会開発論 II				○	◎
C0-622-09-3E-2	社会運動・コミュニティ論			○	◎	
C0-622-10-1E-1	ボランティア・NPO論			○	◎	
C0-622-11-1E-1	ジェンダー論の基礎				○	◎
C0-622-12-3E-2	ジェンダー論				○	◎
C0-622-13-3E-2	環境問題論 I				◎	
C0-622-14-3E-2	環境問題論 II				◎	
C0-622-15-3E-2	多文化共生社会論				○	◎
C0-622-16-2E-1	文化の多様性				○	◎
C0-630-01-1R-1	総合演習					◎
C0-630-02-2E-1	演習 I					◎
C0-630-03-3E-2	演習 II					◎
C0-630-04-4E-3	演習 III					◎
C0-630-05-3E-2	外国書講読	◎				
C0-630-06-3E-2	特殊講義 I			◎	○	
C0-630-07-3E-2	特殊講義 II			◎	○	
C0-630-08-3E-2	キャリア形成と就職		◎			◎
C0-640-01-2E-1	フィールドワークの基礎					◎
C0-640-02-3E-2	フィールドワーク I a					◎
C0-640-03-3E-2	フィールドワーク I b					◎
C0-640-04-3E-2	フィールドワーク I c					◎
C0-640-05-3E-2	フィールドワーク II a					◎
C0-640-06-3E-2	フィールドワーク II b					◎
C0-640-07-3E-2	フィールドワーク II c					◎
C0-650-01-2E-1	海外研究 I	◎				
C0-650-02-2E-1	海外研究 II	◎				
C0-650-03-3E-2	サービスマネジメント		○			
C0-650-04-3E-2	家族法		○			
C0-650-05-3E-2	労働法		○			
C0-650-06-3E-2	社会保障法		○			
C0-650-07-3E-2	会社法		○			
C0-650-08-3E-2	福祉経営論		○			
C0-650-09-3E-2	NPO経営論		○			

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。		
				(1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。	(2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。	(3) 人口減少・少子高齢化社会に対応しうる新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。	(4) 国内外の不平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。
C0-701-01-2E-1	日本史概論			◎			
C0-701-02-2E-1	外国史概論			◎			
C0-701-03-2E-1	地理学概論			◎			
C0-701-04-3E-1	地誌学概論			◎			
C0-702-01-1R-1	現代教職論			◎			
C0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎			
C0-702-03-1R-1	教育の制度と経営			◎			
C0-702-04-2R-2	教育心理学			◎			
C0-702-05-2R-2	教育課程論			◎			
C0-702-06-2R-2	道徳教育の理論と方法			◎			
C0-702-07-2R-2	教育の方法と技術			◎			
C0-702-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎			
C0-702-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎			
C0-702-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			○	◎		
C0-702-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			○	◎		
C0-702-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			○	◎		
C0-702-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			○	◎		
C0-702-14-3E-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			○	◎		
C0-702-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			○	◎		
C0-702-16-3R-3	社会科教育法(発展)			○	◎		
C0-702-17-3R-3	特別支援教育論			○	◎		
C0-702-18-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎		
C0-702-19-3R-2	介護体験実習			◎			
C0-702-20-4R-3	教育実習Ⅰ				○		◎
C0-702-21-4R-3	教育実習Ⅱ				○		◎
C0-702-22-4R-3	教職実践演習(中・高)						◎

経済学部共生社会経済学科課程表

2017(平成29)～2018(平成30)年度入学生適用(その1)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修/選択必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目	
教養教育科目	T G ベーシック	聖書を学ぶ	半期	●		2										○	4科目のうち1科目2単位必修。計4単位まで卒業単位に算入することができる。
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2										○	
		キリスト教A(キリスト教と倫理)	半期											2			
		キリスト教B(キリスト教と宗教)	半期											2			
		キリスト教C(キリスト教と文化)	半期											2			
		キリスト教D(キリスト教と現代社会)	半期											2			
		市民社会を生きる	半期	○	○	2											
		地球社会を生きる	半期				○	○	2								
		科学技術社会を生きる	半期				○	○	2								
		キャリア形成と大学生活	半期	○	○	2											
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期							○	○	2					
		数理的思考の基礎	半期	○	○	2											
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2											
		科学的思考の基礎	半期				○	○	2								
		情報化社会の基礎	半期	○	○	2											
		メディア・リテラシー	半期				○	○	2								
		読解・作文の技法	半期	●		2											
		研究・発表の技法	半期		●	2											
	人文系	哲学	半期	○	○	2											
		芸術論	半期	○	○	2											
		歴史学	半期	○	○	2											
		倫理学	半期							○	○	2					
		文学	半期	○	○	2											
		文化人類学	半期	○	○	2											
		地理学	半期	○	○	2											
		心理学	半期	○	○	2											
		社会学	半期	○	○	2											
		経営学	半期							○	○	2					
		法学	半期	○	○	2											
		日本国憲法	半期				○	○	2								
社会系	現代政治基礎	半期	○	○	2												
	東北地域論	半期				○	○	2									
	環境の科学	半期	○	○	2												
	自然の科学	半期	○	○	2												
	健康の科学	半期				○	○	2									
	先端の科学と技術	半期				○	○	2									
自然系	生命の科学	半期	○	○	2												
	情報リテラシー	半期	○	○	2												
	震災と復興	半期	○	○	2												
	地域の課題I	半期				●		2							○		
地域教育科目	地域の課題II	半期					●	2									
	地域課題演習	通年										4					
	英語I A	半期	●		1										○		
	英語I B	半期		●	1										○		
外国語科目	英語II A	半期				●		1							○		
	英語II B	半期					●	1							○		
	ドイツ語I A	半期	●		2												
	フランス語I A	半期	●		2												
	中国語I A	半期	●		2												
	ドイツ語I B	半期		●	2												
	フランス語I B	半期		●	2												
	中国語I B	半期		●	2												
	ドイツ語II	半期				●		2									
	フランス語II	半期				●		2									
	中国語II	半期				●		2									
	外国語コミュニケーション	半期							●		2						
	韓国・朝鮮語I A	半期	●		2												
	韓国・朝鮮語I B	半期		●	2												
韓国・朝鮮語II	半期				●		2										
第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語I A」を履修すること。ただし「ベーシック英語」と「英語III」は進級・卒業単位に含まない。		
	英語III	半期									1						
保健体育科目	体育講義	半期				○	○	2									
	スポーツ実技	通年				●	●	2									

経済学部共生社会経済学科課程表

2017(平成29)～2018(平成30)年度入学生適用(その2)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考		
			1年			2年			3年			4年					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修 / 選択 必修	◎印—必修科目 ○印—選択必修科目	
外国人留学生科目	第1類	日本事情A			2												
		日本事情B			2												
		日本事情C			2												
	第2類	日本語ⅠA	●		1												
		日本語ⅠB		●	1												
		日本語ⅡA				●		1									
		日本語ⅡB				●		1									
専門教育科目	第1類(経済系)	経済学基礎	ミクロ経済学入門Ⅰ	●		2											
			ミクロ経済学入門Ⅱ		●	2											
			マクロ経済学入門Ⅰ	●		2											
			マクロ経済学入門Ⅱ		●	2											
			資本主義経済入門Ⅰ	●		2											
			資本主義経済入門Ⅱ		●	2											
			資本主義経済理論Ⅰ				●		2								
			資本主義経済理論Ⅱ					●		2							
			経済史Ⅰ							●			2				
		経済史Ⅱ								●		2					
		経済学史Ⅰ								●		2					
		経済学史Ⅱ									●	2					
		現代の経済	日本経済論							●		2					
			日本産業論								●	2					
			労働経済論Ⅰ							●		2					
			労働経済論Ⅱ								●	2					
			グローバル経済論Ⅰ							●		2					
			グローバル経済論Ⅱ								●	2					
	東北経済論								●		2						
	東北開発論									●	2						
	アジア経済論Ⅰ								●		2						
	アジア経済論Ⅱ									●	2						
	地域経済論									●	2						
	経済立地論									●	2						
	情報経済論									●	2						
	グローバル資本主義論										●	2					
	加齢経済論Ⅰ					●		2									
	加齢経済論Ⅱ								●	2							
	第2類(共生社会系)	政策	財政学Ⅰ				●		2								
			財政学Ⅱ					●		2							
			社会保障論	●		2											
			社会保険論							●		2					
			福祉国家論Ⅰ							●		2					
			福祉国家論Ⅱ								●	2					
			社会福祉論							●		2					
			公的扶助論				●		2								
			地域福祉論Ⅰ							●		2					
			地域福祉論Ⅱ								●	2					
			地方財政論Ⅰ								●	2					
			地方財政論Ⅱ									●	2				
		社会思想史								●	2						
		公共哲学									●	2					
社会		共生社会概論	●		2												
		グローバリズムとナショナリズム								●	2						
		現代社会問題論	●		2												
		現代社会と差別								●	2						
		格差社会論Ⅰ							●		2						
		格差社会論Ⅱ								●	2						
		社会開発論Ⅰ							●		2						
		社会開発論Ⅱ								●	2						
		社会運動・コミュニティ論							●		2						
		ボランティア・NPO論			●	2											
	ジェンダー論の基礎		●	2													
	ジェンダー論								●	2							
環境問題論Ⅰ								●	2								
環境問題論Ⅱ									●	2							
多文化共生社会論								●	2								
文化の多様性					●	2											

経済学部共生社会経済学科課程表

2017(平成29)～2018(平成30)年度入学生適用(その3)

※開講学年前期後期欄

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												備考				
			1年			2年			3年			4年			必修 / 選択 必修	○印—必修科目 ○印—選択必修科目			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
専門 教育 科目	第3類 総合 研究	総合演習	半期	●		2											○		
		演習Ⅰ	通年				●	●	4										
		演習Ⅱ	通年							●	●	4							
		演習Ⅲ	通年										●	●	4				
		外国書講読	半期							●		2							
		特殊講義Ⅰ	半期							●		2							
		特殊講義Ⅱ	半期								●	2							
		キャリア形成と就職	半期							●		2							
	第4類 実習 科目	フィールドワークの基礎	半期				●		2										
		フィールドワークⅠa	半期							●		2							
		フィールドワークⅠb	半期							●		2							
		フィールドワークⅠc	半期							●		2							
		フィールドワークⅡa	半期								●	2							
		フィールドワークⅡb	半期								●	2							
	第5類 隣接 科目	フィールドワークⅡc	半期								●	2							
		海外研究Ⅰ	半期				●		2										
		海外研究Ⅱ	半期					●	2										
		サービスマネジメント	半期							●		2							
		家族法	半期							●		2							
		労働法	半期							●		2							
		社会保障法	半期								●	2							
会社法		半期							●		2								
教育職員免許 状の教科に関 する科目	福祉経営論	半期							●		2								
	NPO経営論	半期								●	2								
	日本史概論	半期					●	2											
	外国史概論	半期					●	2											
教職 等 に 関 す る 科 目	地理学概論	半期				●		2											
	地誌学概論	半期							●		2								
	現代教職論	半期	●		2												◇		
	教育原理	通年	●	●	4												◇		
	教育心理学	半期				●		2									◇		
	教育課程論	半期				●		2									◇		
	教科教育法Ⅰ(社会・地理歴史)	半期					●	2									◇		
	道徳教育の理論と方法	半期					●	2									☆		
	教育方法	半期				●		2									◇		
	教育の相談と指導Ⅰ	半期				○	○	2									◇		
	教育の相談と指導Ⅱ	半期					●	2									◇		
	教科教育法Ⅰ(社会・公民)	半期							●		2						◇		
	教科教育法Ⅱ(社会・地理歴史)	半期								●	2						◇		
	教科教育法Ⅱ(社会・公民)	半期								●	2						◇		
	教科教育法Ⅲ(社会・公民)	半期								●	2						◇		
	教科教育法Ⅳ(社会)	半期									2						◇		
	特別活動の理論と方法	半期								●	2						◇		
介護体験実習	通年								●	●	2					☆			
教育実習Ⅰ	通年										●	●	3			◇			
教育実習Ⅱ	通年										●	●	2			☆			
教職実践演習(中・高)	半期											●	2			◇			

◇印は、教育職員免許状取得に必修。
 ☆印は、中学校教諭免許状取得に必修。
 教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧(教職課程)を参照のこと。

共生社会経済学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	必修科目 6単位を含む	10単位
		知的基礎		10単位
	学科教養科目			18単位
	小 計			38単位
地域教育科目		必修（地域の課題Ⅰ）		2単位
外国語科目	第1類	必修		4単位
専門教育科目	第1類 (経済系)	経済学基礎		10単位
		現代の経済		12単位
	第2類 (共生社会系)	政策		12単位
		社会		12単位
	第3類	(総合演習)		2単位
小 計			48単位	
地域教育科目 外国語科目第2類 保健体育科目 専門教育科目 他学部・他学科開講科目 単位互換の協定を締結している他大学開講科目				32単位以上
合 計				124単位以上

共生社会経済学科進級要件

・3学年次への進級に必要な最低修得単位数

合 計	48単位 以上	教養教育科目	TGベーシック	16単位 (必修科目4単位を含む)
		外国語科目	第1類	4単位
		専門教育科目	第3類	総合演習2単位
		その他（教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第2類、保健体育科目、専門教育科目、他学部・他学科開講科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目）		

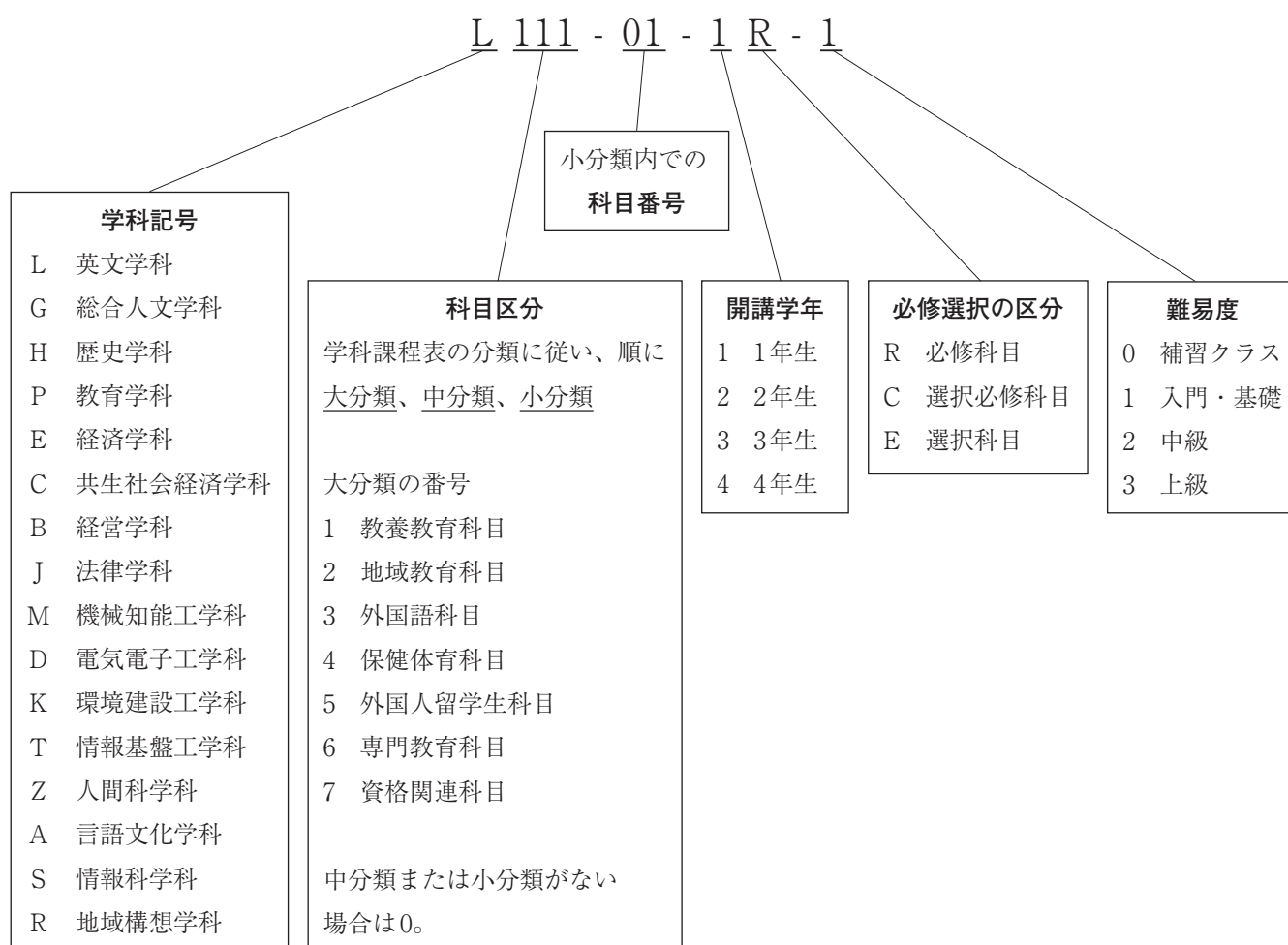
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。 (1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。 (2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。 (3) 人口減少・少子高齢化に対応しうる新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることができる。 (4) 国内外の不平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。	
C111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
C111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
C111-03-3C-2	キリスト教A (キリスト教と倫理)	◎		○		
C111-04-3C-2	キリスト教B (キリスト教と宗教)	◎		○		
C111-05-3C-2	キリスト教C (キリスト教と文化)	◎		○		
C111-06-3C-2	キリスト教D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
C111-07-1E-1	市民社会を生きる			○		
C111-08-2E-1	地球社会を生きる			○		
C111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			○		
C111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			○		
C112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
C112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
C112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
C112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
C112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
C112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
C112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
C112-08-1E-1	研究・発表の技法		◎			
C121-01-1E-1	哲学			◎		
C121-02-1E-1	芸術論			◎		
C121-03-1E-1	歴史学			◎		
C121-04-3E-1	倫理学			◎		
C121-05-1E-1	文学			◎		
C121-06-1E-1	文化人類学			◎		
C121-07-1E-1	地理学			◎		
C122-01-1E-1	心理学			◎		
C122-02-1E-1	社会学			◎		
C122-03-3E-1	経営学			◎		
C122-04-1E-1	法学			◎		
C122-05-2E-1	日本国憲法			◎		
C122-06-1E-1	現代政治基礎			◎		
C122-07-2E-1	東北地域論			◎		
C123-01-1E-1	環境の科学			◎		
C123-02-1E-1	自然の科学			◎		
C123-03-2E-1	健康の科学			◎		
C123-04-2E-1	先端の科学と技術			◎		
C123-05-1E-1	生命の科学			◎		
C123-06-1E-1	情報リテラシー			◎		
C200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
C200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
C200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
C200-04-3E-2	地域課題演習					◎
C310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
C310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
C310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
C310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
C320-01-1E-1	ドイツ語 I A		◎	○		
C320-02-1E-1	フランス語 I A		◎	○		
C320-03-1E-1	中国語 I A		◎	○		
C320-04-1E-1	ドイツ語 I B		◎	○		
C320-05-1E-1	フランス語 I B		◎	○		
C320-06-1E-1	中国語 I B		◎	○		
C320-07-2E-2	ドイツ語 II		◎	○		
C320-08-2E-2	フランス語 II		◎	○		
C320-09-2E-2	中国語 II		◎	○		
C320-10-3E-2	外国語コミュニケーション		◎	○		
C320-11-1E-1	韓国・朝鮮語 I A		◎	○		
C320-12-1E-1	韓国・朝鮮語 I B		◎	○		
C320-13-2E-2	韓国・朝鮮語 II		◎	○		
C330-01-1E-0	ベーシック英語		◎	○		
C330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
C400-01-2E-1	体育講義			◎		
C400-02-2E-1	スポーツ実技			◎		
C510-01-1E-1	日本事情 A			○		
C510-02-1E-1	日本事情 B			○		
C510-03-1E-1	日本事情 C			○		
C520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
C520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○		
C520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○		
C520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		
C611-01-1E-1	ミクロ経済学入門 I			◎		
C611-02-1E-1	ミクロ経済学入門 II			◎		
C611-03-1E-1	マクロ経済学入門 I			◎		
C611-04-1E-1	マクロ経済学入門 II			◎		
C611-05-1E-1	資本主義経済入門 I			◎		
C611-06-1E-1	資本主義経済入門 II			◎		
C611-07-2E-1	資本主義経済理論 I			◎		
C611-08-2E-1	資本主義経済理論 II			◎		
C611-09-3E-2	経済史 I			◎		
C611-10-3E-2	経済史 II			◎		
C611-11-3E-2	経済学史 I			◎		
C611-12-3E-2	経済学史 II			◎		
C612-01-3E-2	日本経済論			◎		○
C612-02-3E-2	日本産業論			◎		○

経済学部 共生社会経済学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる
		現代をよく生きて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	経済学に関して次の学修成果を示すことができる。 (1) 経済学の基礎・応用知識を体系的に理解し、それを基礎に現代社会の諸問題を把握し、分析することができる。 (2) 現代日本における人口減少・少子高齢化という未曾有の社会的趨勢について、経済のみならず、社会構造の変化や政策、市民活動という観点から多角的に理解し、分析することができる。 (3) 人口減少・少子高齢化に対応する新たな社会経済システムとしての「共生社会」の構築に向けた具体的な構想や提言をすることが出来る。 (4) 国内外の不平等や経済格差、種々の差別の問題に対する関心と洞察力をもち、公正な社会と開かれた人間関係を志向することができる。	
C612-03-3E-2	労働経済論 I			◎	○	
C612-04-3E-2	労働経済論 II			◎	○	
C612-05-3E-2	グローバル経済論 I			◎		○
C612-06-3E-2	グローバル経済論 II			◎		○
C612-07-3E-2	東北経済論			◎	○	
C612-08-3E-2	東北開発論			◎	○	
C612-09-3E-2	アジア経済論 I			◎		○
C612-10-3E-2	アジア経済論 II			◎		○
C612-11-3E-2	地域経済論			◎	○	
C612-12-3E-2	経済立地論			◎	○	
C612-13-3E-2	情報経済論			◎	○	
C612-14-3E-2	グローバル資本主義論			◎	○	
C612-15-2E-1	加齢経済論 I			◎	○	
C612-16-3E-2	加齢経済論 II			◎	○	
C621-01-2E-1	財政学 I			◎	○	
C621-02-2E-1	財政学 II			◎	○	
C621-03-1E-1	社会保障論			◎	○	
C621-04-3E-2	社会保険論			◎	○	
C621-05-3E-2	福祉国家論 I			◎	○	
C621-06-3E-2	福祉国家論 II			◎	○	
C621-07-3E-2	社会福祉論			◎	○	
C621-08-2E-2	公的扶助論			◎	○	
C621-09-3E-2	地域福祉論 I			◎	○	
C621-10-3E-2	地域福祉論 II			◎	○	
C621-11-3E-2	地方財政論 I			◎		◎
C621-12-3E-2	地方財政論 II			◎		◎
C621-13-3E-2	社会思想史			◎		◎
C621-14-3E-2	公共哲学			◎		◎
C622-01-1E-1	共生社会概論				○	◎
C622-02-3E-2	グローバリズムとナショナリズム				○	◎
C622-03-1E-1	現代社会問題論				○	◎
C622-04-3E-2	現代社会と差別				○	◎
C622-05-3E-2	格差社会論 I				○	◎
C622-06-3E-2	格差社会論 II				○	◎
C622-07-3E-2	社会開発論 I				○	◎
C622-08-3E-2	社会開発論 II				○	◎
C622-09-3E-2	社会運動・コミュニティ論				○	◎
C622-10-1E-1	ボランティア・NPO論				○	◎
C622-11-1E-1	ジェンダー論の基礎				○	◎
C622-12-3E-2	ジェンダー論				○	◎
C622-13-3E-2	環境問題論 I				○	◎
C622-14-3E-2	環境問題論 II				○	◎
C622-15-3E-2	多文化共生社会論				○	◎
C622-16-2E-1	文化の多様性				○	◎
C630-01-1R-1	総合演習					◎
C630-02-2E-1	演習 I					◎
C630-03-3E-2	演習 II					◎
C630-04-4E-3	演習 III					◎
C630-05-3E-2	外国書講読	◎				
C630-06-3E-2	特殊講義 I			◎	○	
C630-07-3E-2	特殊講義 II			◎	○	
C630-08-3E-2	キャリア形成と就職			◎		◎
C640-01-2E-1	フィールドワークの基礎					◎
C640-02-3E-2	フィールドワーク I a					◎
C640-03-3E-2	フィールドワーク I b					◎
C640-04-3E-2	フィールドワーク I c					◎
C640-05-3E-2	フィールドワーク II a					◎
C640-06-3E-2	フィールドワーク II b					◎
C640-07-3E-2	フィールドワーク II c					◎
C650-01-2E-1	海外研究 I		◎			
C650-02-2E-1	海外研究 II		◎			
C650-03-3E-2	サービスマネジメント			○		
C650-04-3E-2	家族法			○		
C650-05-3E-2	労働法			○		
C650-06-3E-2	社会保障法			○		
C650-07-3E-2	会社法			○		
C650-08-3E-2	福祉経営論			○		
C650-09-3E-2	NPO経営論			○		
C701-01-2E-1	日本史概論			◎		
C701-02-2E-1	外国史概論			◎		
C701-03-2E-1	地理学概論			◎		
C701-04-3E-1	地誌学概論			◎		
C702-01-1R-1	現代教職論			◎		
C702-02-1R-1	教育原理			◎		
C702-03-2R-1	教育心理学			◎		
C702-04-2R-1	教育課程論			◎		
C702-05-2R-1	教科教育法 I (社会・地理歴史)			◎		
C702-06-2R-1	道徳教育の理論と方法			◎		
C702-07-2R-1	教育方法			◎		
C702-08-2R-1	教育の相談と指導 I			◎		
C702-09-2R-1	教育の相談と指導 II			◎		
C702-10-3R-2	教科教育法 I (社会・公民)			◎	○	
C702-11-3R-2	教科教育法 II (社会・地理歴史)			◎	○	
C702-12-3R-2	教科教育法 II (社会・公民)			◎	○	
C702-13-3R-2	教科教育法 III (社会・公民)			◎	○	
C702-14-3E-2	教科教育法 IV (社会・公民)			◎	○	
C702-15-3R-2	特別活動の理論と方法			◎		
C702-16-3R-2	介護体験実習			◎		
C702-17-4R-3	教育実習 I			◎		◎
C702-18-4R-3	教育実習 II			◎		◎
C702-19-4R-3	教職実践演習 (中・高)			◎		◎